



港南小学校

学校だより

9月号

二十四節気・七十二候

< 9月の二十四節気 >

- ・ 9月7日 白露
気界冷露白し
- ・ 9月23日 秋分
秋の最中昼夜平分

< 9月の七十二候 >

- ・ 草露白
くさのつゆしろし
→ 草に降りた露が白く光る
- ・ 鶺鴒鳴
せきれいなく
→ 鶺鴒が鳴き始める
- ・ 玄鳥去
つばめさる
→ 燕が南へ帰っていく
- ・ 雷乃収声
かみなりすなわちこえをおさむ
→ 雷が鳴り響かなくなる
- ・ 蟄虫坏戸
むしかくれてとをふさぐ
→ 虫が地中に掘った穴をふさぐ
- ・ 水始涸
みずはじめてかる
→ 田畑に水を干し始める

船木 亮作

学 ぶ 姿 勢 (博 学 篤 志)

二学期が始まります。静かだった夏休みが終わり、学校にも活気が戻ってきます。子供たちも教職員も新たな気持ちで再スタートです。人は、いろいろな経験や感動を積み重ねて成長します。夏休みに子供たちはどんな経験をしましたでしょうか。六年生の五名は、港区海外派遣事業により、オーストラリア・メルボルンでホームステイをしました。その成果を、九月九日(土)の報告会で発表しますので、特に来年度希望予定の方は、是非ご参加ください。

五年生は箱根ニコニコ学園で宿泊体験をしました。第一期は晴天に恵まれ、すべての行程を終えることができましたが、第二期は残念ながら天候不順のため、いくつかの行程の変更が強いられました。しかし、子供たちは「泊三日の宿泊体験を通して」、「自立すること」、「協力すること」、「感謝すること」の大切さを学ぶことができました。成長を感じられる三日間となりました。また、各学年の補習授業、十四日間にわたる水泳教室にもたくさんの子供たちが参加しました。そして何とんでも百を超える「夏休み港南クラブ」は、普段の授業では味わえない様々な体験をすることができました。しかし、いくらか多くの経験を積んでも学ぶ側の姿勢によつて大きな違いが出てきます。

論語の中にも次のような言葉があります。

「子夏曰く、博く学んで篤く志り、切に向うて近く思う。仁其の中に在り。」

これは孔子の後継者としての子夏の学ぶ姿勢がうかがわれる一文で、学習する時の心得です。これを引用して「博学篤志」という四字熟語もあります。「篤志(はくしがく)」広く様々なことを学習し、「篤志(とくし)」しっかりと記憶すること。「切問(せつもん)」鋭く自分自身で考

たり他に質問をしたりする。そして、「近思(きんし)」自分自身の身近な問題として考えるという事です。

以前もお話ししましたように、ただ知識を蓄積していくだけでは、ままならない時代となってきました。得た知識を身近な問題として考えたり、深く学び活用したりしていくという力が問われてきます。また、「生涯学習」ということが言われるようになって随分と時が経ちます。我々教職員も夏季休業中それぞれのテーマをもち、大学や一般企業、教員の資質向上研修など忙しい日々を送ってきました。少しでもよい授業をするためにどうしたらよいか、子供たちが興味関心をもち、自ら学ぼうとするような授業展開はどうしたらよいかなど少しでも自分の授業力が向上するように研修を積んで来たり、自分自身の課題をもち臨みました。その中で、様々なことを学びました。例えば「人財育成」の大切さ、ヒューマンエラを減らすための「確認会話」の大切さ、「リスク評価」の大切さ、「リーダーとは」など様々なことを学びました。この学びを二学期からの学校経営に生かしていきたいと考えています。

最後に二学期は、運動会、ウインターフェスタ、研究発表会など多くの行事が組まれていきます。体調管理とともに子供たち一人一人が「学ぶ姿勢」をもち続けて大きく成長してくれることを願っています。今学期もどうぞよろしくお願いたします。

お知らせ

一年一組担任の松坂 祥子主任教諭におきましては、体調不良のため今年度いっぱいお休みされることとなりました。その後任に現在一年二組の指導講師の持原 篤子先生を担任いたしました。また、学年主任を一年三組遠山 晶子主任教諭に、副主任を一年五組大川 信子教諭が担当いたします。

今月の生活目標

「自分から進んであいさつをしましょう」

元気な子供たちの声が再び学校に戻ってきました。真つ黒に焼けた顔、少し伸びた背丈。千二百四通りの夏休みの過ごし方があったことを感じます。四十二日間あった夏休みを子供たちは規則正しい生活を送れたでしょうか。あいさつはしっかりとできていたでしょうか。

今日から二学期です。二学期は運動会やウインターフェスタなど大きな行事が続きます。自分の力を精一杯出すチャンス、頑張る友達を応援するチャンスがたくさんあります。しかし、元気に学校に来られなければ、何も始まりません。生活リズムを整え、十分な栄養と睡眠で毎日を健やかに過ごせるように指導してまいります。

今月の生活目標は「自分から進んであいさつをしましょう」です。ポイントは「自分から」です。四月号にも書きましたが、あいさつは相手を認めることです。よりよい人間関係を築くための第一歩となります。「おはようございます」や「こんにちは」が相手と自分の仲を深め、さらに「がんばろう」という前向きな気持ちに繋がるよう、教職員一同指導してまいります。

(生活指導主幹 小林 幸子)



港南小学校HP

東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

9月の行事予定

1日	金	始業式 8:30 [土曜時程] 幼小中合同避難訓練 10:15 引き渡し訓練 10:50 合同移動教室説明会(わかば) 9:00
2日	土	土曜授業日
3日	日	
4日	月	全校朝会、給食始、発育測定始、夏休み自由作品展示始 セーフティタイム、委員会活動
5日	火	げんきアップタイム 保護者会(わかば、1・4・5年) 15:00
6日	水	水泳記録会(6年)【芝浦小】
7日	木	体育朝会、集会 合同移動教室事前交流会(わかば) わかば学級説明会 9:30
8日	金	水泳指導終、保護者会(2・3・6年) 15:00
9日	土	校庭開放 10:00 海外派遣報告会【御成門小】 14:30
10日	日	
11日	月	全校朝会、クラブ活動
12日	火	
13日	水	研究授業(わかば)【わかば学級は14:40下校】
14日	木	音楽朝会、フレンドリータイム
15日	金	発育測定終、夏休み自由作品展示終 芸術鑑賞教室(5・6年)、ふれあいコンサート(わかば)
16日	土	
17日	日	プラリバ祭り 12:30
18日	月	敬老の日
19日	火	4時間授業【13:10下校】 合同移動教室前日検診(わかば)
20日	水	合同移動教室①(わかば4~6年)
21日	木	体育朝会、集会 合同移動教室②(わかば4~6年)
22日	金	合同移動教室③(わかば4~6年)
23日	土	秋分の日 ふれあいクリーン作戦 10:00
24日	日	
25日	月	全校朝会 運動会係活動(6年、応援団) 6校時 【3~5年は14:40下校】
26日	火	
27日	水	運動会全体練習 1校時
28日	木	校内海外派遣報告会
29日	金	運動会全体練習予備日
30日	土	水辺フェスタ【鼓笛隊参加12:30頃】

10月の主な行事予定

- 1日(日)都民の日
- 3日(火)運動会全校練習 1校時
- 5日(木)わかば学級にエールを送る会(5年)
- 6日(金)特別支援学級合同運動会
- 9日(月)体育の日、鉄道の日パレード(鼓笛隊参加)
- 10日(火)運動会全校練習1・2校時
運動会係活動(6年、応援団)6校時【2~5年下校時間変更】
- 11日(水)エールを送る会、通し練習
- 13日(金)運動会通し練習
運動会前日準備(6年、応援団)5・6校時【1~5年下校時間変更】
- 14日(土)運動会【雨天延期の場合は登校しない】
- 15日(日)運動会延期日
- 16日(月)振替休業日
- 17日(火)区連合運動会(6年)
- 19日(木)避難訓練
- 21日(土)土曜授業日、ふれあいクリーン作戦(4年)
- 22日(日)ワールドシティ秋祭り(鼓笛隊参加)
- 24日(火)区連合運動会予備日
- 26日(水)区連合運動会報告会

副校長より

長い夏休みも終わり、新しい学期が始まりました。今学期も子供たちが安心・安全に生活できるように、教職員一同努力してまいります。

さて、暦の上ではすでに秋となり、そこかしこで季節の移り目を感じるようになってきました。例えば、気付いてみると、六月末には十九時を過ぎてもまだ明るかったのに、今では八時頃にはすでに薄暗くなっています。こうした中で、子供たちが安心・安全な生活を送れるよう、ご家庭にもご協力をお願いいたします。夏休みを振り返ってみたいとき、「夏休みだから、少し帰宅時刻が遅くなってもいいや」と気が緩んだこと

(副校長)

近藤 夏彦
原島 謙一

とはなかつたでしょうか。港南クラブや水泳指導で登校する時には、必ず校帽をかぶって防たでしようか。校帽は、怪我が防止になることにも、本校の児童であることの証となり、地域の大人たちから守ってもらえることにもつながります。

子供たちにも働きかけたり、状況を整えたりすることは、大人の役目であると言えます。今後とも、保護者の皆様とともに子供たちの安全に取り組みたいと思っております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2学期の生活目標
自分から進んであいさつをしよう

今月の生活目標
自分から進んであいさつをしましょう

今月のあいさつ当番
2年

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	29	233	206	196	194	189	156	1203

五年生 ～夏季学園～

夏季学園の準備

五年生は、初めての宿泊行事である夏季学園をとて楽しんでいていました。まずは学年全員でオリエンテーションを行い、「思いやり」「協力」「五分前行動」「感謝」を、めあてにすることが、行程などを確認しました。係活動では、計画を立てたり、進んで準備をしたりして自分の役割を果たそうとする姿がありました。キャンプファイヤーで歌う歌や、フオーグダンスの練習もしました。また、時計を見て行動できるよう、授業の開始時間や、課外活動などでの集合時間を守って意識し、時間を守って行動できるように。

夏季学園を通して

いよいよ始まった二泊三日の夏季学園。天候に恵まれず一期、二期と行程は違いましたが、どちらも自然の雄大さを感じたり、大盛り上がりレクリエーションを楽しんだりと、宿泊行事ならではの体験ができました。中でも、この三日間の子供たちの成長は素晴らしいかったです。五分前行動は完璧でした。自分たちで考えたり、先生方に教えてもらったりして、できることが増えてきました。班で優しく声をかけたり、友達のを揃えたりする姿も見られました。また、出発式などに臨む態度も立派でした。課題もありましたが、「ぼくたち、協力の仕方が最高です」「しつかりできて、さすが私たちですよね」と自信をもって話す子供たちが頼もしく見えました。これも、ご理解・ご協力いただいた保護者の皆様のおかげです。ありがとうございます。これを2学期の指導に生かしたいと思えます。

(二組担任 並木 恵美子)



二年生より

理科学習にワクワク

三年生になり、理科の学習が始まりました。子供たちは毎回、興味津々で授業に取り組んでいます。

一学期の前半は、海洋大学に行き、動植物を観察しました。虫眼鏡を使い、生き物の特徴を細かく観察していました。後半は、「風とゴムの力はたらく」という単元で、ゴムロケットや帆かけ車で実験を行いながら、風やゴムの持つ性質を理や解しました。何度も実験する中で、「風やゴムは、ものを動かす力がある」「風力発電は風の力を使っているね」と学んだことから自分たちの生活を振り返っていました。

これからの身の回りの生活から出た疑問を解決するための見通しをもつて、前向きに解決できるように担任一同指導して参ります。

(三組担任 金子 瑠美)



社会科の学習について

社会科では、身近な場所の特徴を調べることから始まり、港区全体まで学習を広げました。町探検では、自分たちが住んでいる周辺を方角ごとに調べました。「南にはマンションが多い」や「西は駅があるから、人が多い」など、それぞれ方角の特徴を発見し、自分たちが住んでいる町の様子を捉えました。



港区の様子を調べる学習では、港南地区と区内の他地区とを比べることで、「麻布地区は坂が多くて道が細い」など、他の地区の特徴に気付きました。社会科見学で実際に見たことだけでなく、人口や事業所の数など、資料からの情報も活用し、五つの地区の様子をまとめました。

今後、三年生では身近なことから社会に目を向けて、学習したことを基に考えさせる指導を行ってまいります。

(五組担任 中原 真)

港区小学生海外派遣団員として

七月二十四日から八月一日の一週間、港区の全小学校から選ばれた四十名の六年生とともに、オーストラリアのメルボルン及びシドニーへ行ってきました。本校は五名の子供たちが参加し、意欲的に研修を行うことができました。

メルボルンでは、現地校で授業を受けた後、日本の文化を英語で紹介したりと交流を深めました。また、ホームステイも経験し、オーストラリアの生活を体験しました。

シドニーでは、市内観光や動物園訪問を行い、オーストラリアの歴史や文化を学びました。研修中、自分から進んでコミュニケーションをとったり、行動したりする姿が多く見られ、意識の高さを感じました。派遣団員全員で一致団結し、合言葉であった「チームハーバーブリッジ」に向け、様々なことにチャレンジし、日本とオーストラリアの架け橋になりました。これには、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなの応援が、とても大きかったです。

帰国後、自分たちが学んだことを、お友達や家族に伝えたいと思います。また、英語の学習が本格化する中学校との接続を考え、低学年からライティングや発音(フォニックス)の学習を取り入れていきます。より一層英語や外国の文化に興味をもち、進んで英語でコミュニケーションを図れる児童の育成を目指します。

(国際科担当 三和 あかね)

国際科担当より

一年生から週二回、国際科の授業を行っています。今年度も四名のネイティブティチャーと担任とが、連携しながら授業を行っています。低学年では英語に慣れ親しむこと、中学年では簡単な会話ができるようになること、高学年では自己表現ができるようになることを目指しています。

今年度は、二〇二〇年に高学年で外国語活動が必修化することを踏まえ、単元ごとにどのような力を身に付けさせるの

かを明確にして授業を行っています。また、英語の学習が本格化する中学校との接続を考え、低学年からライティングや発音(フォニックス)の学習を取り入れていきます。より一層英語や外国の文化に興味をもち、進んで英語でコミュニケーションを図れる児童の育成を目指します。

(国際科担当 三和 あかね)



校内研究より

社会科部会



(社会科部会 戸室 勇児)

社会科部会では、「なせ」として、他者とかかわりながら課題を解決できる児童の育成」を目標として研究を行っています。七月の研究授業では、「ごみ」として、ごみから分別された資源がどのように再利用されるのか、という課題に取り組みました。子供たちは、「缶」「ビン」「ペットボトル」といった資源の中から関心のある資源を一つ選び、同じ物を選んだ友達とグループを作って学習を進めました。学習の中では、処理の過程でできる素材の实物を手にしたり、清掃工場の見学で学んだ処理工程を思い浮かべたりしながら、資源の再利用の方法を話し合いました。



生活科部会

(生活科部会 松坂 祥子)



生活科部会では、研究主題を「自分の思いをもって進んで働きかけのできる児童の育成」として研究を進めています。四月から、子供たちは一人一人のアサガオを育てることに、「自分のアサガオ」という意識をもって大切に育ててきました。七月十二日(水)には、「はなやさいをそだてよう」という単元名で研究授業を行いました。「きょうのあさがおほんなようすかな」の課題に、子供たちは「先生の背よりもつるが伸びた」「この丸いのはなんだろう」と多くのことに気が付き、驚きと喜びの声を上げていました。今後も引き続き、自分の育てている植物をより大切にしたいという思いをもたせることができると考えていきたいです。

音楽科部会

(音楽科部会 北 有子)



音楽科部会では、音楽の見方を広げ、友達と一緒に活動する喜びを実感できるように、音楽づくりの研究をしています。七月十二日(水)の研究授業では、六年生が黒鍵を使った音楽づくりに取り組みました。まずは、四人がグループになり、木琴の黒鍵部分で即興演奏を楽しみます。次に「主旋律」「和音」「伴奏」「かざり」の四つの役割を担当して、音楽をつくっていきます。黒鍵だけで音を重ねてみると、意外に心地よい響きになり、リズムや強弱や速さなどの工夫を加えながら、四人で自分たちの音楽をつくりあげます。嬉しそうにアイコンタクトを取りながらお互いの音を聴き合っている豊かな時間になりました。

図画工作科部会



(図画工作科部会 竹内 麻美)

図画工作科部会では、「自分の思いを表現することを楽しみ、お互いのよさを感じ取ることのできる児童の育成」を目指しています。共同製作において、友達の意見を受け入れながら、表現し合うことの楽しさを感じられる授業づくりを研究しています。先日行われた研究授業では、一年生がペアで線を描いて、色を塗る共同製作に取り組みました。「この色にしてみたらどうかね」「その色、いいね」と、友達と相談しながら描いていました。また、描いた絵を見て「恐竜の形みたい」「二人だと素敵だね」と一緒に製作することを楽しんでいました。

表彰

第30回記念
マリンカップサッカー大会
～4年生の部～
優勝 港南FC Aチーム
～3年生の部～
優勝 港南FC Aチーム



平成29年度
東京都スポーツ少年団競技別交流大会
第3位
港南メッツスポーツ少年団

体育部より

夏季水泳

今年度は前期七日間、後期七日間の計十四日間行いました。多い日には五五〇人を越える児童が参加しました。前期は学年別、後期は級別で行い泳力を伸ばしました。自分の泳力に合わせて一人一人が目標をもち頑張って練習しました。二学期の水泳学習も安全第一で進めていきます。ご家庭でもお子様の体調管理や水泳カードや水着等の忘れ物が無いよう、引き続きご確認いただけたいと思います。

(体育部 小和瀬 皓惟朗)



上手に浮けた！！



深くまで潜れるようになったよ！